

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

(2021年)

概要版

令和4年10月

名古屋市観光文化交流局

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（2021年）概要版

1 調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査結果の概要

(1) 観光客の入込動向

【観光入込客統計に関する共通基準の採用】

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準（平成25年3月改定）」に基づき実施した。2021年については、全国観光統計基準に適合する81地点の観光入込客数を把握した。

【観光入込客延べ人数】

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体への入込客数調査によって観光入込客延べ人数を算出した。2021年の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約3,446万人となった。

■ 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

観光地点等の分類		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
大分類	中分類					
学ぶ (見る・体験する)	自然	(1) 54,692	(1) 52,124	(1) 52,872	(1) 16,923	(1) 39,098
	文化・歴史	(37) 23,848,487	(40) 25,157,487	(43) 22,718,096	(32) 11,213,833	(36) 10,853,989
	産業観光	(6) 1,364,185	(6) 1,306,959	(5) 1,351,347	(5) 381,597	(4) 392,828
遊ぶ (楽しむ・リフレッシュする)	スポーツ・レクリエーション施設	(22) 15,897,887	(22) 15,232,108	(23) 19,898,495	(20) 8,180,852	(22) 9,306,271
触れ合う (交流する)	行・祭事	(15) 6,255,906	(15) 7,803,274	(13) 5,120,679	(3) 72	(4) 202,058
	イベント	(22) 23,496,410	(22) 21,379,636	(21) 23,850,109	(16) 11,827,025	(14) 13,669,845
計		(103) 70,917,567	(106) 70,931,588	(108) 72,991,598	(77) 31,620,302	(81) 34,464,089

注：調査観光地点数は、年によって変動する。

参考：「観光入込客統計に関する共通基準（平成25年3月改定）」より抜粋

- ①非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。
- ②観光入込客が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

この報告書に記載のある数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合があります。

【観光入込客実人数の推計】

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点を設定し、観光入込客実人数を推計した。2021年の観光入込客実人数は約2,330万人となった。

宿泊施設調査により、宿泊客実人数を推計し、観光客調査により、居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客・日帰り客実人数を推計した。

■ 観光入込客実人数の推移

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
観光入込客延べ人数（人）	70,917,567	70,931,588	72,991,598	31,620,302	34,464,089
平均訪問観光地点数	1.50	1.50	1.46	1.43	1.48
観光入込客実人数（万人）	4,728	4,729	4,999	2,211	2,330
宿泊客実人数（万人）	625	677	712	365	418
日帰り客実人数（万人）	4,103	4,052	4,287	1,846	1,912

■ 市内・市外別宿泊客数・日帰り客数の推計

	実人数計	居住地割合		観光入込客実人数	
		名古屋市内	名古屋市外	名古屋市内	名古屋市外
観光入込客	2,330万人	35.1%	64.9%	818万人	1,512万人
宿泊客	418万人	2.7%	97.3%	11万人	407万人
日帰り客	1,912万人	44.4%	55.6%	807万人	1,105万人

【観光消費額の推計】

観光客調査により、観光入込客の名古屋市内での消費額を設定し、観光総消費額を推計した。2021年の名古屋市内の観光総消費額は約2,483億円となった。

■ 宿泊・日帰り別観光総消費額の推移

		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
宿泊客一人あたりの消費額		25,498円	29,296円	31,304円	28,594円	29,090円
日帰り客一人あたりの消費額	名古屋市内	3,090円	2,842円	3,088円	4,175円	3,546円
	名古屋市外	6,558円	6,795円	6,400円	7,701円	8,876円
宿泊客総消費額		1,595億円	1,983億円	2,229億円	1,044億円	1,216億円
日帰り客総消費額	名古屋市内	560億円	561億円	657億円	446億円	286億円
	名古屋市外	1,501億円	1,414億円	1,383億円	599億円	981億円
名古屋市内観光総消費額		3,656億円	3,958億円	4,268億円	2,089億円	2,483億円

■ 観光消費額の推移

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
食事費消費額	1,082億円	1,162億円	1,341億円	540億円	701億円
交通費消費額	418億円	421億円	517億円	281億円	281億円
土産費消費額	741億円	748億円	802億円	348億円	679億円
宿泊費消費額	604億円	805億円	794億円	378億円	384億円
入場料消費額	364億円	373億円	431億円	250億円	218億円
その他消費額	384億円	449億円	383億円	293億円	220億円
観光総消費額	3,656億円	3,958億円	4,268億円	2,089億円	2,483億円

■ 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外在住
食事費	7,816円	1,128円	2,559円
交通費	2,459円	506円	1,245円
土産費	5,074円	1,230円	3,323円
宿泊費	9,198円		
入場料	1,770円	433円	991円
その他	2,773円	249円	757円
合計	29,090円	3,546円	8,876円

■ 主な旅行費用項目別消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外在住	
食事費消費額	327億円	91億円	283億円	701億円
交通費消費額	103億円	41億円	138億円	281億円
土産費消費額	212億円	99億円	367億円	679億円
宿泊費消費額	384億円			384億円
入場料消費額	74億円	35億円	110億円	218億円
その他消費額	116億円	20億円	84億円	220億円
観光総消費額	1,216億円	286億円	981億円	2,483億円

(2) 観光地点入込客の実態

名古屋駅、栄エリア（オアシス 21、観光案内所）をはじめとする 9 観光エリアにおいて、2021 年 11 月 18 日（木）～11 月 23 日（火）、11 月 25 日（木）～11 月 30 日（火）、12 月 2 日（木）、12 月 4 日（土）、12 月 5 日（日）の 15 日間、調査員が対面聞き取りにより調査した（合計 1,876 サンプル）。

■ 調査観光地点とサンプル数

	名古屋駅	栄エリア（オアシス 21 観光案内所）	名城エリア（金城ふ頭含む）	金城ふ頭エリア	名古屋港水族館	大須商店街	東山動物園	熱田神宮	名古屋市科学館	合計
サンプル数	209	207	216	210	210	206	210	204	204	1,876

【観光地点別入込客の特性】

居住地をみると、「名古屋駅」と「名古屋港水族館」を除く観光地点で名古屋市内の割合が最も多く、「名古屋駅」では関東からの訪問が多くなっている。

「名古屋港水族館」、「大須商店街」、「栄エリア」では 10 代と 20 代の訪問率が高い。30 代では、「金城ふ頭エリア」、「東山動物園」の訪問率が高く、20 代と 30 代では「名古屋市科学館」の訪問も高くなっている。40 代と 50 代では「熱田神宮」が高く、また、50 代から 70 代では「名古屋駅」も高い訪問率となっている。

（本編参照）

■ 観光入込客の居住地構成

(単位：%)

東海	東海			関東	近畿	北陸・甲信越	北海道・東北	中国・四国	九州・沖縄	その他
	名古屋市	愛知県（名古屋市を除く）	岐阜県・三重県・静岡県							
72.0	35.1	25.1	11.8	11.4	9.9	2.7	1.4	1.5	1.1	0.0

【観光入込客の遊覧状況】

一人あたりの訪問施設数は1.48施設である。

観光地点相互でみると、「熱田神宮」と「名古屋城」の来訪者では相互に訪れる割合が高く、「金城ふ頭エリア」では、「レゴランド®・ジャパン」、「リニア・鉄道館」が近距離にあることにより、相互で訪問する割合が高くなっている。

■ 主な観光施設入込客の遊覧状況

(単位：%)

訪問施設	名古屋城	トヨタ産業技術記念館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	中部電力 TOWER MIRAI	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋市科学館	レゴランド®・ジャパン	リニア・鉄道館
観光地点													
名古屋駅	43.5	6.2	13.4	23.0	3.8	8.6	1.4	2.9	1.0	1.4	4.3	3.3	3.8
栄エリア (オアシス21 観光案内所)	5.8	1.4	1.4	2.9	0.5	1.9	0.0	5.3	1.4	8.2	2.4	1.4	0.0
名城エリア (金シャチ横丁含む)	78.7	0.9	6.0	19.4	0.9	0.9	0.5	4.2	0.5	0.0	1.9	1.9	0.5
金城ふ頭エリア	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.8	16.2
名古屋港水族館	22.9	6.2	1.4	6.2	2.4	2.4	1.0	1.9	0.0	0.0	0.5	0.0	1.0
大須商店街	8.3	0.5	1.9	3.9	0.5	1.0	1.5	0.0	0.0	0.0	3.4	1.0	0.0
東山動植物園	2.4	0.0	0.0	0.5	0.0	100.0	1.9	0.5	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0
熱田神宮	19.1	1.0	4.9	99.0	3.9	2.5	0.5	1.5	0.0	0.0	0.0	2.0	2.9
名古屋市科学館	6.4	2.5	2.0	4.9	0.0	2.9	0.0	0.5	0.5	0.0	95.1	0.0	0.5
全体	21.1	2.1	3.6	17.6	1.3	13.4	0.7	1.9	0.4	1.1	11.8	5.0	2.8

※その他は本編参照

【観光入込客の旅行費用】

今回の旅行費用の平均額は、交通費 1,279 円、土産代 2,991 円、食事代 3,107 円、入場料 1,010 円である。また、宿泊者の1泊の宿泊代は 9,198 円となっている。

■ 主な観光施設入込客の市内での消費額

	交通費	土産代	食事代	宿泊代	入場料	その他の費用
平均額 (円)	1,279	2,991	3,107	9,198	1,010	981

【名古屋の印象・旅行の満足度】

名古屋市外からの観光入込客の名古屋の印象・旅行の満足度は、全体で「大変満足」(35.7%)と「ほぼ満足」(42.8%)を合わせた78.5%が満足と評価している。

■ 観光入込客の名古屋の印象・旅行の満足度

(単位：%)

印象・満足度		観光地点・地域・性別・年齢	大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
観光地点	名古屋駅		15.6	48.4	26.3	1.1	0.5
	栄エリア (オアシス21 観光案内所)		35.9	22.8	37.0	2.2	1.1
	名城エリア (金シャチ横丁含む)		31.4	54.1	14.5	0.0	0.0
	金城ふ頭エリア		67.8	26.3	3.4	2.5	0.0
	名古屋港水族館		44.8	38.2	17.0	0.0	0.0
	大須商店街		38.6	39.4	22.0	0.0	0.0
	東山動植物園		45.0	48.6	4.6	0.9	0.0
	熱田神宮		25.2	46.9	28.0	0.0	0.0
	名古屋市科学館		28.8	50.8	18.6	0.0	0.0
地域		東海	37.3	42.0	19.4	0.6	0.1
		愛知県 (名古屋市を除く)	36.4	42.8	19.1	0.9	0.2
		岐阜県	35.4	38.4	25.3	0.0	0.0
		三重県	46.3	46.3	7.5	0.0	0.0
		静岡県	38.2	36.4	25.5	0.0	0.0
		関東	31.9	46.0	16.9	0.5	0.0
		近畿	31.2	43.5	21.5	0.5	0.5
		北陸・甲信越	49.0	37.3	13.7	0.0	0.0
		北海道・東北	37.0	37.0	25.9	0.0	0.0
		中国・四国	42.9	39.3	17.9	0.0	0.0
	九州・沖縄	14.3	57.1	19.0	9.5	0.0	
	その他	-	-	-	-	-	
性別	男性		34.3	43.3	20.4	0.8	0.2
	女性		36.6	42.5	18.3	0.6	0.1
年齢	10～19歳		44.2	35.3	20.0	0.0	0.5
	20～29歳		38.8	40.6	19.2	0.4	0.0
	30～39歳		43.1	42.1	13.9	0.5	0.0
	40～49歳		27.5	47.6	22.2	1.6	0.0
	50～59歳		26.2	45.8	23.8	0.6	0.0
	60～69歳		32.4	44.9	16.2	0.7	0.7
	70～79歳		30.2	47.7	19.8	1.2	0.0
	80歳以上		46.7	40.0	13.3	0.0	0.0
全 体			35.7	42.8	19.1	0.7	0.2

(3) 宿泊施設の状況

市内宿泊施設に調査票を配布し、施設の概要ならびに宿泊客数などを把握した。市内の総宿泊客数は、回答施設の実績から未回答分を推計し算出した。

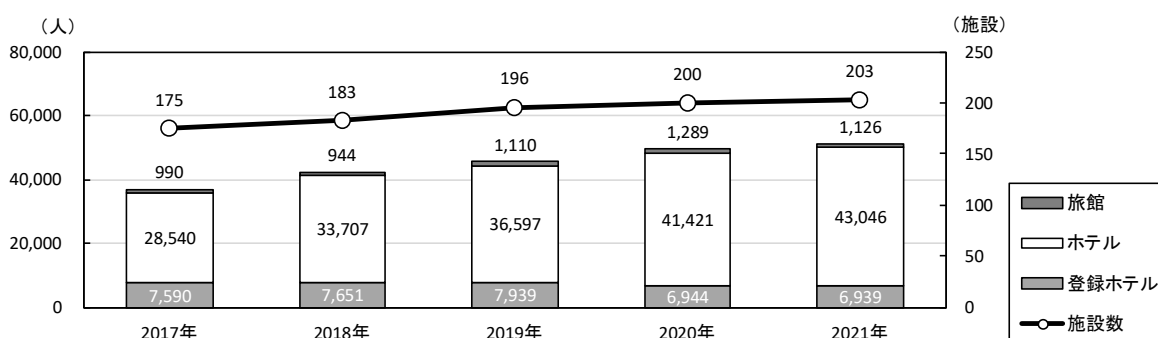
【宿泊施設数】

施設数では、登録ホテルが12施設、登録ホテルを除くホテルは167施設、旅館は24施設となった。また、室数の合計は31,578室、収容人数の合計は51,111人となった。

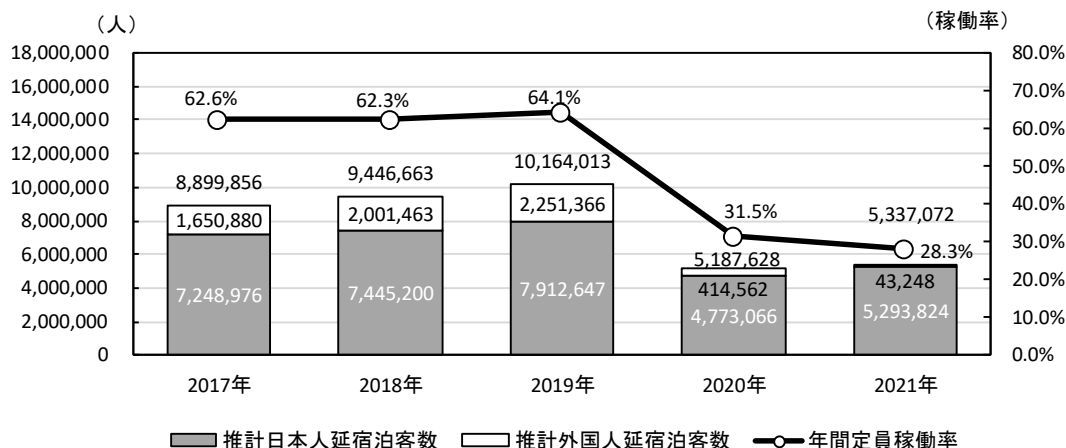
【年間宿泊客数】

2021年の全施設の年間総延べ宿泊客数は約534万人泊であった。また、全施設の年間総実宿泊客数は約418万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約1.28日と推計される。

■ 市内宿泊施設収容人数及び施設数の推移



■ 施設推計延べ宿泊客数の推移



■ 推計年間宿泊客数及び年間定員稼働率の推移

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
推計総実宿泊客数（人）	6,247,166	6,765,087	7,118,240	3,647,057	4,179,005
うち外国人	1,115,713	1,284,032	1,347,440	226,685	22,329
推計延宿泊客数（人泊）	8,899,856	9,446,663	10,164,013	5,187,628	5,337,072
うち外国人	1,650,880	2,001,463	2,251,366	414,562	43,248
年間定員稼働率（％）	62.6%	62.3%	64.1%	31.5%	28.3%

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊客数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。
 年間定員稼働率＝年間延べ宿泊客数÷年間収容可能人数

【国別外国人宿泊客数】

国別の外国人宿泊客数について回答が得られた施設は68施設であった。

国別の外国人宿泊客数は「ベトナム」が全体の24.6%と最も高く、次いで、「中国」(16.9%)、「フィリピン」(10.0%)となっている。

■ 国別外国人宿泊客数

模	2021年			2020年			
	施設規 登録 ホテル	ホテル	旅館	回答人数 (人)	推計人数 (人)	割合 (%)	割合 (%)
回答数（施設数）	6	60	2	68			
ベトナム	56	2,458	10	2,524	5,117	24.6%	0.6%
中国	79	1,627	36	1,742	3,532	16.9%	42.1%
フィリピン	40	985	0	1,025	2,078	10.0%	0.3%
米国	134	840	5	979	1,985	9.5%	2.1%
韓国	13	715	2	730	1,480	7.1%	5.4%
インド	0	587	0	587	1,190	5.7%	0.0%
タイ	25	536	0	561	1,137	5.5%	9.0%
英国	3	406	0	409	829	4.0%	0.7%
インドネシア	13	340	1	354	718	3.4%	1.1%
台湾	7	282	1	290	588	2.8%	19.3%
ブラジル	0	139	5	144	292	1.4%	-
オーストラリア	45	46	0	91	184	0.9%	1.3%
シンガポール	9	73	0	82	166	0.8%	1.7%
香港	4	63	0	67	136	0.7%	13.1%
フランス	7	43	0	50	101	0.5%	0.4%
ジャマイカ	50	0	0	50	101	0.5%	-
ミャンマー	36	0	0	36	73	0.4%	-
ドイツ	3	28	0	31	63	0.3%	0.5%
スペイン	0	30	0	30	61	0.3%	0.0%
オランダ	0	34	0	34	69	0.3%	-
マレーシア	0	16	0	16	32	0.2%	1.0%
カナダ	0	12	0	12	24	0.1%	0.1%
ニュージーランド	0	5	0	5	10	0.0%	0.0%
チリ	0	5	0	5	10	0.0%	-
カンボジア	0	2	1	3	6	0.0%	0.0%
ロシア	0	3	0	3	6	0.0%	0.0%
イタリア	0	3	0	3	6	0.0%	0.0%
メキシコ	0	3	0	3	6	0.0%	0.0%
モンゴル	0	3	0	3	6	0.0%	-
ウズベキスタン	0	2	0	2	4	0.0%	-
ネパール	0	0	2	2	4	0.0%	-
ペルー	0	2	0	2	4	0.0%	-
ベネゼエラ	0	0	1	1	2	0.0%	-
ドミニカ共和国	0	0	1	1	2	0.0%	-
スイス	0	1	0	1	2	0.0%	-
その他	9	392	0	401	813	3.9%	1.2%
合計	533	9,681	65	10,279	20,840	100.0%	100.0%

【修学旅行について】

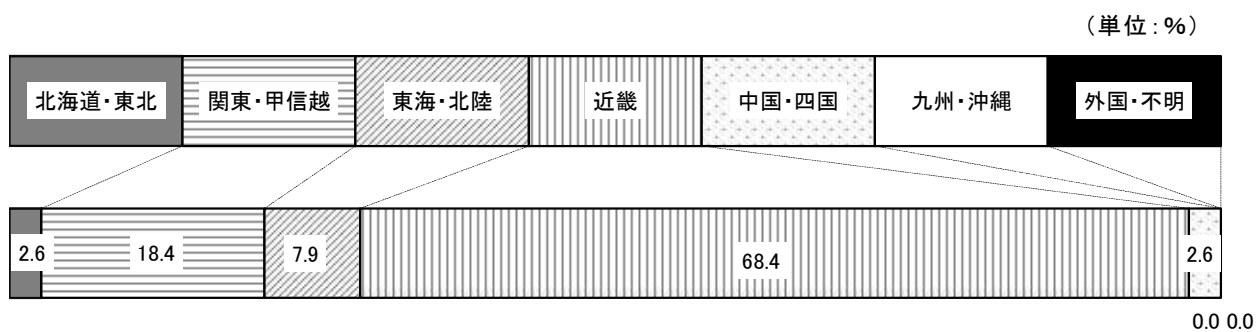
修学旅行を受け入れた宿泊施設は9施設で、学校数は38校、宿泊客数は3,492人であった。昨年に比べ学校数は13校減少しているが、宿泊客数は25人増加している。

学校分類別では「小学校」が7校、「中学校」が9校、「高校」が20校、「その他」が2校となっている。(本編参照)

■ 修学旅行団体の受入実績の推移

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
学校数(校)	98	80	110	51	38
宿泊客数(人)	4,576	4,631	4,252	3,467	3,492

■ 地域別修学旅行団体入状況



(4) 全国から見た名古屋の観光に関する評価

名古屋への訪問実績や観光資源の認知度、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、名古屋市を除く全国の18～79歳の男女個人を対象に、2022年1月にインターネットを用いてアンケートを実施した（1,113サンプル）。

【観光資源について】

名古屋の主要な観光資源については、認知度、訪問意向・体験割合はともに「名古屋城」が最も高く、訪問意向・体験割合は「名古屋城」と「なごやめし」が高くなっている。

■ 名古屋の主要観光資源について

(単位：%)

	名古屋城	金シャチ横丁	徳川美術館	熱田神宮	四間道	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋市科学館（プラネタリウムなど）	白鳥庭園	名古屋港（名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど）	東山動植物園	栄（中部電力MIRAI TOWER、久屋大通公園（ヒサヤオオドリパーク）、オアシス21など）
認知度	79.6	19.9	21.1	49.4	4.9	19.5	20.9	16.3	16.5	6.1	25.9	40.8	22.9
体験	39.3	13.7	13.3	25.9	4.6	9.5	8.9	5.8	9.3	2.9	12.0	12.2	20.1
訪問意向	42.7	22.7	20.5	28.3	4.2	16.6	14.4	12.4	10.3	9.2	17.0	23.3	12.2

	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松・日本遺産（街並み、有松・鳴海絞会館など）	桶狭間（桶狭間の戦いゆかりの地）	秀吉・清正記念館	レゴランド®・ジャパン	なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、しめん、みそかつ、手羽先など）	名古屋まつり	につぼんど真ん中祭り	世界コスプレサミット	名古屋おもてなし武将隊	その他	知っているものはない
認知度	19.5	2.6	7.0	23.2	4.0	35.1	49.1	8.9	7.7	5.9	10.1	0.1	10.8
体験	15.9	1.9	2.1	3.7	2.7	7.5	31.9	3.9	3.5	2.1	2.1	1.4	18.4
訪問意向	12.2	4.6	8.8	13.8	10.2	15.3	40.9	6.7	5.2	4.9	6.0	0.9	8.4

【名古屋の観光地としての魅力について】

名古屋の観光地としての「魅力を感じる」は 53.9%と半数以上を占め、「魅力を感じない」は 14.2%と 1 割半ばである。また「どちらともいえない」は約 3 割となっている。

■名古屋の観光地としての魅力

(単位：%)

	魅力を感じる	魅力を感じない	どちらともいえない
全体 N=1, 113	53.9	14.2	31.9

■名古屋に観光地としての魅力を感じない理由

(単位：%)

	希薄であること	他の観光都市と比べて観光イメージが薄いこと	名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと	魅力ある観光施設が少ないこと	魅力あるイベントが少ないこと	魅力ある食べ物・飲食店が少ないこと	魅力あるおみやげ品が少ないこと	交通アクセスが良くないこと	夜に楽しめる場所が少ないこと（観光施設の閉館時間が早いことなど）	観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	まちがきれいでないこと	まちに緑が少ないこと	その他
全体 N=158	39.9	20.9	5.1	34.8	7.0	10.8	5.7	3.8	2.5	2.5	2.5	7.6	3.8	

【観光振興について】

2007 年 7 月から主要観光施設等を周遊している観光ルートバス「メーグル」の認知度は、今回 16.8%となり、利用意向は 55.1%となった。（本編参照）

(5) 主要観光施設の入込客数

■ 主要観光施設別入込客数の推移

(単位:人)

施設	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
名古屋城	1,830,404	2,175,483	2,205,544	648,089	677,989
東山動植物園	2,512,291	2,521,652	2,514,391	1,343,593	1,756,409
東山スカイタワー	287,025	272,771	273,380	108,175	153,627
中部電力 MIRAI TOWER	297,436	316,524	10,307	58,745	87,818
熱田神宮	7,090,427	7,106,742	7,405,049	5,642,933	3,100,507
名古屋港*1	470,531	461,433	465,043	177,173	230,248
名古屋市科学館	1,277,909	1,362,519	1,335,840	478,336	635,764
徳川美術館	222,958	217,797	232,429	71,069	101,242
名古屋市博物館	447,718	451,453	523,006	164,308	232,316
東谷山フルーツパーク	428,631	418,892	503,145	376,754	444,703
農業文化園・戸田川緑地	1,075,147	1,074,356	1,062,155	792,907	919,030
でんきの科学館	279,932	308,754	339,828	53,700	63,873
名古屋市美術館	185,339	682,826	349,676	1,273	134,902
名古屋港水族館	2,195,051	2,089,865	2,195,713	937,529	1,255,084
トヨタ産業技術記念館	460,098	425,972	459,353	95,604	107,172
白鳥庭園	151,919	145,698	165,877	98,156	115,706
市政資料館	80,143	100,402	108,023	45,844	61,040
名古屋能楽堂	174,756	184,198	157,513	57,475	66,048
愛知県美術館	1,169,140	30,016	683,200	328,086	452,327
名古屋市農業センター	643,564	570,633	554,046	375,073	337,821
有松・鳴海校会館	179,917	164,747	164,787	107,173	62,776
久屋大通庭園フラリエ	625,073	554,956	579,101	366,363	433,458
名古屋ボストン美術館 注1	125,619	194,100	-	-	-
刈タケの森	313,551	333,713	327,871	113,992	85,764
ブルーボネット 注2	52,611	47,903	45,129	25,017	46,945
徳川園	300,498	328,011	352,563	168,615	182,694
文化のみち二葉館	32,174	31,253	33,750	11,171	14,876
スカイプロムナード	83,906	83,065	94,904	46,944	60,606
リニア・鉄道館	447,249	409,056	440,982	145,975	179,892
パロマ瑞穂スポーツパーク	1,449,293	1,332,061	1,474,347	554,655	665,556
バンテリンドーム ナゴヤ	3,954,618	4,382,529	5,179,563	1,093,807	926,784
主要観光施設の入込客数合計	28,844,928	28,779,380	30,236,515	14,488,534	13,592,977

*1 名古屋港：ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計

注1：名古屋ボストン美術館は2018年に閉館

注2：ブルーボネットは12月26日から翌2月末日まで冬季休園

注3：2021年中の新型コロナウイルス感染症の影響による休館日数は名古屋城8日間、東山動植物園8日間、東山スカイタワー8日間、でんきの科学館41日間、スカイプロムナード5日間



名古屋市観光客・宿泊客動向調査概要版

(2021年)

令和4年10月発行

発行 名古屋市観光文化交流局

業務委託先 株式会社サーベイリサーチセンター

(この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。)